

洲本城の見どころ

< 洲本城の見どころ

以下に、洲本城の見所をご説明いたします。なお、詳細をクリックすることで、洲本城のそれぞれの見所を、地図と合わせてくわしくご覧になることができます。大きな写真も掲載していますので、洲本城史跡案内の参考にどうぞ。

淡路島 三熊山 洲本城 みどころ紹介



① 大手門

脇坂安治在城のごろと思われる城絵図には、この大手口はのつていよい。そのため、この大手門は、いつごろ、どういった目的で作られたのか、どうなことがはつきりつかっていないままである。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/大手門/>) >>

② 二段積みの石垣

馬屋郭（うまやくわ）の北東部に存在する石垣。低い石垣を二段積み重ねて石垣を高く見せるのは、石垣の初期の頃である。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/二段積みの石垣/>) >>

③ 紀淡海峡を望む

馬屋郭（うまやくわ）から、紀淡海峡をのぞむことができる。高台になつているこの場所からはサントピアマリーナ、ヨットハーバーはもちろん、由良・友が島もみえる。

詳細 ([http://sumoto-castle.net/2019/01/01/馬屋郭をのぞむ/](http://sumoto-castle.net/2019/01/01/馬屋郭をのぞむ)) >>

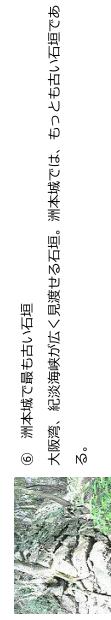
④ 二重の棱縁がある石垣
南の丸東南東部の石垣は、およそ4メートルほど延張されており、旧稜線ヒー
重になつている。急傾斜を扼守する必要性に迫られたのだろうか。



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/二重の棱縁がある石垣/>) >>



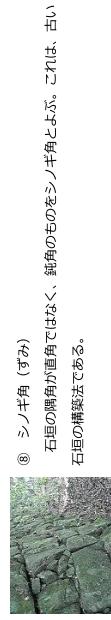
詳細 ([http://sumoto-castle.net/2019/01/01/石垣を製いていた水はここから得ていた/](http://sumoto-castle.net/2019/01/01/石垣を製いていた水はここから得ていた。)) >>



詳細 ([http://sumoto-castle.net/2019/01/01/洲本城で最も古い石垣/](http://sumoto-castle.net/2019/01/01/洲本城で最も古い石垣)) >>



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/洲本城東部第一線の石垣/>) >>



詳細 ([http://sumoto-castle.net/2019/01/01/シノギ角%88すみ%ef%bc%89/](http://sumoto-castle.net/2019/01/01/シノギ角%88すみ%ef%bc%89)) >>



詳細 ([http://sumoto-castle.net/2019/01/01/東一の門/](http://sumoto-castle.net/2019/01/01/東一の門)) >>
武者留の東端部にある。この門をくぐると城内に入ることとなる。
このことができる。



詳細 ([http://sumoto-castle.net/2019/01/01/木丸への大石段/](http://sumoto-castle.net/2019/01/01/木丸への大石段)) >>
木丸南の虎口へとつなじる、広く大きいくりの石段。洲本城の威風を感じ
ることができるのである。



詳細 ([http://sumoto-castle.net/2019/01/01/木丸への大石段/](http://sumoto-castle.net/2019/01/01/木丸への大石段)) >>
木丸の虎口へとつなじる、広く大きいくりの石段。洲本城の威風を感じ
ことができるのである。

詳細 ([http://sumoto-castle.net/2019/01/01/木丸/](http://sumoto-castle.net/2019/01/01/木丸)) >>



⑬ 天守より見る眺望
城下のみならず、海上を一望できる。かつては水軍の城として築かれた洲本
城からではあろう眺めは、現在、洲本八景の一つとして数えられている。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/天守より見る眺望/>) >>



⑭ 本丸の虎口
本丸の虎口同様、堅苦な門を支えていたであらう歴石が相対するように
残されている。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/本丸の虎口/>) >>



⑮ 鏡石（かがみいし）
敵兵を威圧し、本丸を守るためにめの石。鏡は邪魔なものを見切る力がある、と
されることから、重要な北の虎口に鏡石を配置したのだろう。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/鏡石%ef%bc%88かがみいし%ef%bc%89/>) >>



⑯ 天守台の南北の隅角部
闇が原の戦いの後の改築と思われる。算木（さんぎ）積みとよばれる。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/天守台の南北台の南北台の隅角部/>) >>



⑰ 摺手口（からめてくち）
本丸近くの、三熊山は正面の急峻な要害は天守を守る。恐らく、かつてはこ
こが天手口であつたと推測されている。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/摺手口%ef%bc%88からめてくち%ef%bc%89/>) >>



⑲ 残念石
西の丸へ行く途上、右手に出でてくる。洲本城で現在発見されている唯一の残
念石。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/残念石/>) >>



⑳ 本丸台面の石垣
闇が原の戦いの後の改築であると思われる。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/本丸台面の石垣/>) >>



㉑ 芝右衛門門脛
芝右衛門門脛（しばもん／んねぎ）の脣
芝右衛門門脛は、かつて三熊山に住んでいたといわれる大屋。主郭跡の片隅に
は、芝右衛門門脛をまつる祠があり、中に祠像がまつられている。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/芝右衛門門脛/>) >>



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/ハ王子木戸/>) >>



㉒ 佐久間守台頭が、洲本城を構築の際誰か進したもの。
佐久間の城神社とともに洲本城の鎮守の神社である。蛇の神様を祀っている
という。巨大な石があり、信仰の対象であつたようだ。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/ハ王子木戸/>) >>



㉓ 西の登り石垣
登り石垣は、西と東の一箇所存在している。この登り石垣は、全国でもわず
か三箇所しか残っていないため、貴重なものである。しかし、保存状態はあ
まりよくない上に、草木が生い茂っており、ハチやヘビのほか、崩落の危険
がある場所もあるために、現地に確認に行くのであればしっかりと長靴、長袖の装備で行くこ
とをお勧めする。また、三熊山登山道を歩いて登るといくつか確認することもできるので、どうして
も見たい、という場合はそちらをお勧めする。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/西の登り石垣/>) >>



㉔ 脇坂安治実母の生居跡
大石段手前に、かつて脇坂安治の実母が住んでいたとされる。
(場所：洲本城本丸から、惣倉へ西の丸方面へ進んでゆくと、すぐくに見れる。猪手口の側。現在は、
貴重なこの植木を保護するために、鉄の柵で周囲を覆っている。)



㉕ 東の登り石垣
登り石垣は、西と東の二箇所存在している。この登り石垣は、全国でもわず
か三箇所しか残っていないため、貴重なものである。しかし、保存状態はあ
まりよくない上に、草木が生い茂っており、ハチやヘビのほか、東の登り石
垣は特に崩落の危険が高いので、実際に見に行くのはお勧めしない、安易に見学に行くと、大陸我す
る可能性もある場所だということを付け加えておく。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/東の登り石垣/>) >>



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/本丸台面の石垣/>) >>

